

かけはし



尾張旭市立三郷小学校 第6号 令和2年10月9日（金）

彩りのある日常に！

校長 井田 寿

今から100年以上前、その時代を必死に生きた人たちの表情や笑顔、町の様子などの白黒（モノクロ）写真を、AIを駆使して彩り鮮やかなカラー写真に変える特集をテレビで視聴しました。カラーで再現された写真を見ると、その時代に生きていた人たちの目にも今と同じような青空や木々の緑、顔、肌の色などが鮮明に映っていたのだと、当たり前のことを改めて実感することができました。遠い昔のこととと思っていた100年以上前の世界がとても新鮮で、身近なものに感じました。



彩り鮮やかな秋花壇

1学期は、ほとんどの行事が中止となり、残念な思いをしてきました。2学期は、コロナ禍にあっても引き続き感染症対策に努めつつ、いろいろと知恵を絞り、工夫をしながら行事を少しずつ実施しています。5年生は、9月4日（金）～5日（土）の2日間、付知峡森林キャンプ場で林間学校を実施しました。学年テーマ「無傷帰宅～楽しく安全に行動する～」のもと、飯ごう炊飯やファイヤー（レクリエーションタイム）、川遊び、キャビンでの寝泊まりなどの体験を通して、仲間と助け合いながら友情を深めることができました。また、快晴に恵まれた10月2日（金）には、後期児童会役員が考えたテーマ「猪突猛進SUN!GO!!GO!!!」のもと、学年別の運動会を実施しました。前日の準備では、約50名ほどの児童たちがボランティアとして校舎北側のアスファルトなどをきれいにそうじしたり、6年生が積極的に会場準備をしたりしました。当日は、どの学年の児童も練習の成果を思う存分発揮し、成就感に満ちあふれていました。練習を始めた頃は、踊りのステップや手振りが「何でできないんだ!？」と悩んだり苦しんだりした児童もいたと思います。仲間と練習を重ねていくうちにできるようになり、「やればできる」という達成感を味わうことができたのではないのでしょうか？さらに一生懸命に走り、頑張る姿は胸を打つものがありました。例年とはちがう面も多々あったと思いますが、今だからこそできる運動会になったと思います。

様々な行事で必死に頑張っている表情や仲間との笑顔が映っているカラー写真は、とても鮮やかです。今年ならではの特別な体験ができた思い出に残る色鮮やかな林間学校や運動会だったのかもしれませんが。授業や放課など、普段の学校生活においても児童たちのキラキラ輝く笑顔が見られました。コロナ禍にあっても児童たちが「学校って楽しい!」と思えるように十人十色の個性を生かし、1学期よりも彩り豊かで、何年経っても色鮮やかな記憶として残る2学期になるように教職員一同、努めていきます。保護者や地域の皆様、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



学校は笑顔が一番だね！